

会 議 録

1 会議名

令和8年度第5回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

(1) 市民の消火栓使用について

○自主的な審議（公開）

(1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

3 開催日時

令和8年8月19日（水）午後6時30分から午後7時38分まで

4 開催場所

牧区総合事務所 3階301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名

- ・ 委 員：西山会長、清水副会長、飯田委員、池田委員、井上委員、河野委員、
梨本委員、羽深委員、宮内委員、横尾委員
- ・ 担 当 課：危機管理課 竹内課長、松永副課長
- ・ 事 務 局：牧区総合事務所 小林所長、岩崎次長、清水市民生活・福祉G長兼教育・
文化G長、小暮地域振興班長、風間副主幹

8 発言の内容

【会議録署名委員の指名】

- ・ 西山会長が会議録署名委員として河野委員を指名

【報告事項(1)：市民の消火栓使用について】

■ 説明

- ・ 担当課が資料 No. 1 に基づき説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見（井 上 委 員）： 町内会長まちづくりの集いで説明したとのことだが、その会合は全町内会長の参加を求めるものであったか。町内会長の参加状況によって、各町内の住民への周知状況が異なるため、確認したい。

→回答（竹 内 課 長）： 8月5日の町内会長まちづくりの集いは、全町内会長が参加対象だが、欠席した町内会長もいた。今後、広報上越の配布と合わせ資料を送付し、周知することとしている。

→意見（井 上 委 員）： 今回の説明の趣旨は、市として消火栓を積極的に使うことを推奨するのではなく、自ら地域を守りたいという意向が強い地域において、消火栓の使用を認めるということは理解した。

→回答（竹 内 課 長）： 本方針は全ての地域に実施を求めるものではなく、安全対策を十分に講じたうえで実施するかどうかを各地域で判断してもらうものである。消防署や消防団が来るまで何もしないのではなく、少しでも対応したいということであれば、必要な訓練の実施と資機材の用意をしていただきたい。

- ・ 質問／意見（西 山 会 長）： 他自治体では40mmホース対応の消火栓やアタッチメントを整備している事例があるが、市では今後、同様に整備をする予定があるか。

→回答（竹 内 課 長）： 消防署及び消防団は65mmホースを標準とし、消火栓の金口もその仕様となっていることから、現時点で40mmホースを使用可能とする整備を考えていない。40mmホースを結合するには消火栓にアタッチメントを着ける必要がある上、放水圧が低いものと

なる。さらに、住民が40mmホースを結合した後に消防署や消防団が到着した際には、65mmホースを使用するために、一度放水を止めてアタッチメントを外す作業が生じてしまう。

- ・ 質問／意見（横尾委員）： 一般市民が消火活動に協力した際に負傷した場合の補償制度について、改めて確認したい。

→回答（竹内課長）： 消防署や消防団の活動に協力した住民等が負傷した場合については、消防団員と同様の公務災害補償の対象となることを確認している。

（危機管理課 退席）

【自主的な審議(1)：あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について】

■ 説明

- ・ 事務局が資料 No. 2 に基づき説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見（清水副会長）： ワークショップ当日の時間配分はどのように予定しているのか。

→回答（小暮班長）： 18時30分から説明等を行い、19時頃から1時間程度グループワークを実施する予定としている。その後にグループごとの発表と藤山所長の感想までを含めて20時の終了を見込んでいるが、議論の状況により20時30分頃まで延長することも想定している。

- ・ 質問／意見（清水副会長）： 配布資料の文字が小さいため、見やすい大きさにしてほしい。

→回答（小暮班長）： 本日の資料は、2ページ分を1ページに集約したが、当日の配布資料は、集約せず配布するとともに、

会場に掲示する資料も拡大対応する。

- ・ 質問／意見（飯 田 委 員）： ワークショップの参加申込み状況はどうか。
 - 回答（小 暮 班 長）： 現時点での申込者は20人程度であるが、当日参加される方もいらっしゃるものと想定している。
 - 意見（飯 田 委 員）： より多くの住民に参加してもらうため、委員の皆さんからも積極的に声掛けを行ってほしい。私も声掛けを行っているが、人によって反応が異なり、このような場には出たくないという人もいる。
 - 回答（小 暮 班 長）： 各委員からも積極的に声を掛けていただきたい。なお、このような場に出たくない方もいらっしゃるとのことだが、集落づくり推進員の集落巡回等を通じて広く声を拾うようにしていきたい。
- ・ 質問／意見（井 上 委 員）： この取組は重要であるが、地域協議会としてこれまで取り組んできた内容との関係や意味合いについても整理しながら進める必要があると考える。
 - 回答（小 林 所 長）： 今回のワークショップの結果を整理したうえで、次回の地域協議会において改めて確認・意見をいただいた上で、今後の方向性の整理につなげたいと考えている。

【その他（連絡事項）】

■ 説明

事務局が以下4点を説明

- ・ 第16回えちご・くびき野100kmマラソンについて
- ・ 第2回持続可能な牧づくり地区別検討会の開催について
- ・ 上越市創造行政研究所広報誌の配布について
- ・ 次回会議の開催予定日について（9月16日（水）18時30分からの開催）

■ 質疑応答

(第16回えちご・くびき野100kmマラソンについて)

- ・ 質問／意見（清水副会長）： 過去に台風の影響で大会が中止となった際、速やかに看板等が撤去されたが、その後、個人的に走った方がコースが分からず迷っていたことがあった。中止の場合であっても案内看板は一定期間残すなどの対応を検討してほしい。

→回答（清水G長）： 運営本部にも意見を伝え、中止時の看板や案内表示の取扱いについて対応を検討したい。

(その他の質問／意見)

- ・ 質問／意見（井上委員）： 会議録の作成に関して、前回会議録署名委員を務めた際に、会長が会議録署名委員を指名する発言を追加した。それに伴い、地域協議会に関する条例について改めて確認する必要性を感じたため、関係条例を各委員に配布し、内容を確認できるようにしてほしい。

→回答（小林所長）： 地域協議会に関する条例及び施行規則を含め、関係規定を資料として配布し、委員に確認してもらえるよう対応する。

- ・ 質問／意見（井上委員）： 地区懇談会が開催されないことは残念であり、地域住民の生の声を聞く機会が必要であると考える。

→回答（小林所長）： 今年度は持続可能な牧づくりに関する検討会等の開催により地域との話し合いを重ね、まちづくりの方向性を地域にお示しする予定としていることから、地区懇談会は実施しないこととしたもの。来年度の開催方法については、改めて新年度の早い段階で検討したい。

→意見（横尾委員）： 地区懇談会を実施する場合は、より多くの住民が参加できる方法や運営手法について検討してほしい。

→回答（小 林 所 長）： これまでも同様の意見を受けており、開催方法や地域協議会委員の関わり方を含めて、新年度の早い段階で改めて検討したい。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線 144）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。